

横浜市インフルエンザ流行情報 2号

横浜市医療局健康安全課／横浜市衛生研究所

<<トピックス>>

例年の同時期よりも患者が多く発生しています

【概況】

第 37 週(9 月 11 日～9 月 17 日)の定点あたりの患者報告数^{※1}は、横浜市全体で **8.93** と、第 36 週(9 月 4 日～9 月 10 日)の 4.91^{※4} から増加しました。

学級閉鎖等は、第 35 週から報告されており、第 37 週は 42 件(小学校 32 件、中学校 6 件、高等学校 3 件、その他 1 件)、患者数は 609 人です。

第 37 週の市内迅速診断キットの結果は、**A 型 696 件、B 型 1 件** と、A 型が多く検出されています。

今シーズンは、新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行が懸念されます。同時に流行すると、発熱外来がひっ迫する可能性があります。本格的な流行の前に、ワクチン接種、発熱などの体調不良時に備えた検査キットや解熱鎮痛薬の用意、咳エチケットや正しい手洗い^{※2}等、早めの準備^{※3}が重要です。

※1 定点あたりの患者報告数とは、定期的にインフルエンザ患者発生状況を報告していただいている医療機関(市内 153 か所)から報告された患者数の平均値です。

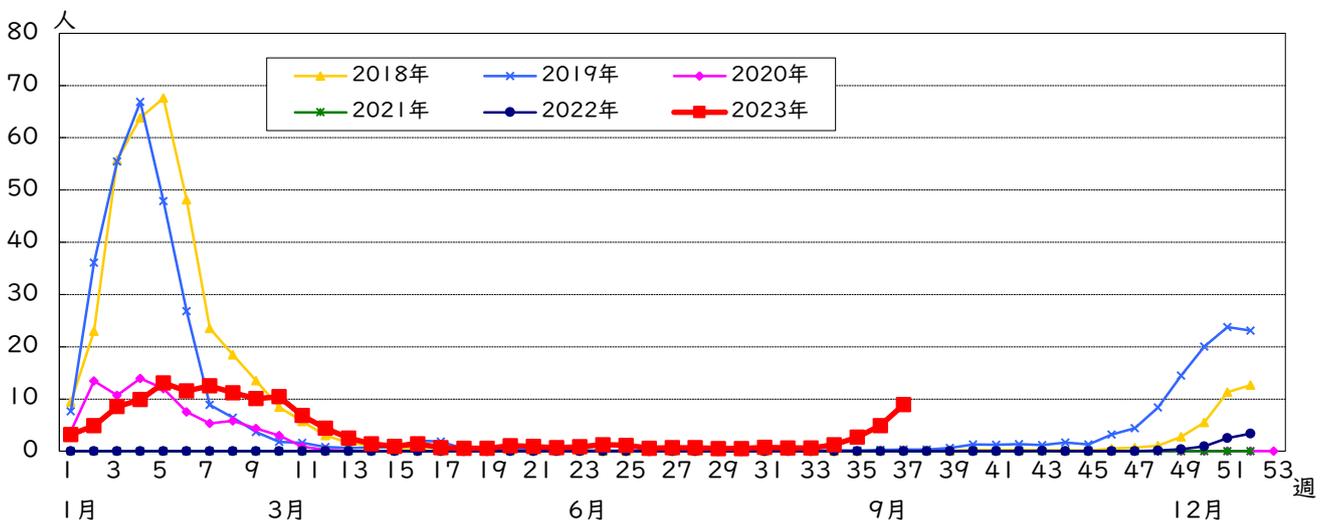
※2 [横浜市保健所ホームページ](#)(「正しい手洗い方法」および、掲示用ポスター「石けんで『手』を洗おう」をトップページに掲載しておりますので、是非ご活用ください)

※3 [市民向けインフルエンザ予防チラシ\(横浜市\)](#)

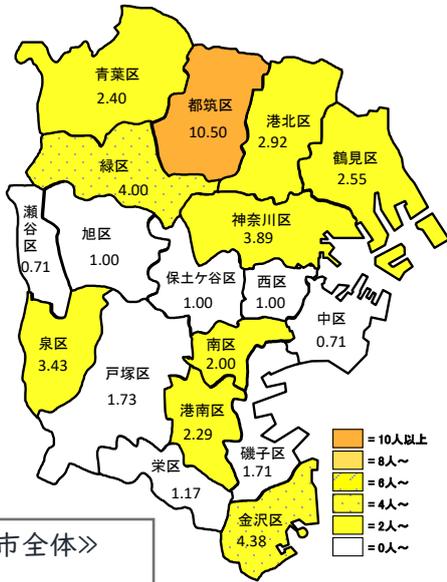
(参考) [インフルエンザウイルス分離・検出速報\(国立感染症研究所\)](#)

【市内流行状況】

市全体の定点あたりの患者報告数は、2022/2023 シーズン第 34 週に 1.27^{※4}、第 35 週は 2.70、2023/2024 シーズン第 36 週は 4.91^{※4} と増加し、第 37 週は 8.93 と、増加が続いています。**例年の同時期よりも、患者が多く発生しています。**



地図で表した直近 3 週間の区別流行状況
(塗り分けの数字は定点あたり報告数)



《市全体》
2022/2023 シーズン
第 35 週 2.70

【参考】

直近流行 (2022/23 シーズン) の流行推移

流行の開始【定点あたり 1.00 以上】

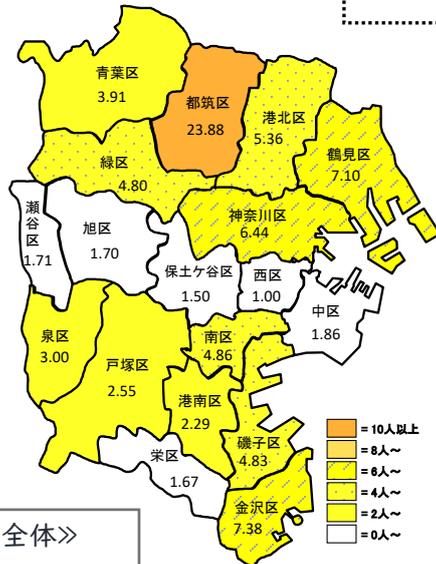
第 51 週 (2022 年 12 月 19 日~12 月 25 日)

流行注意報発令【定点あたり 10.00 以上】

第 5 週 (2023 年 1 月 30 日~2 月 5 日)

流行注意報解除【定点あたり 10.00 未満】

第 11 週 (2023 年 3 月 13 日~3 月 19 日)



《市全体》
2023/2024 シーズン
第 36 週 4.91^{※4}

* 第 36 週から、2023/2024 シーズンとなります。

※4 追加報告のために、以前お知らせした情報から報告数が更新されました。

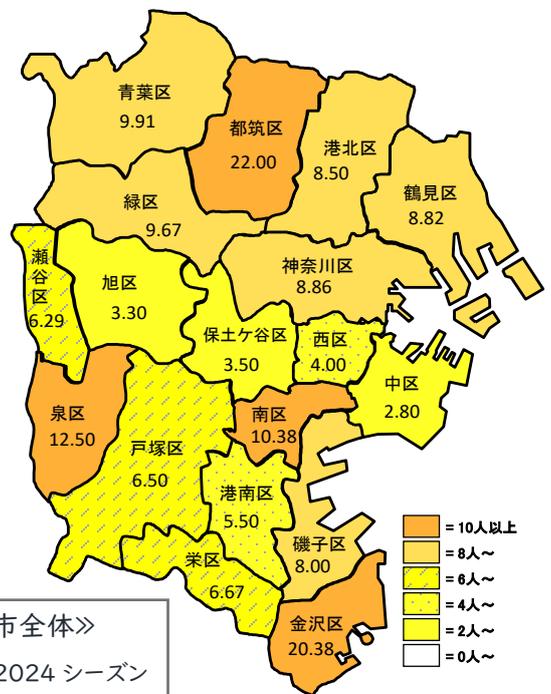
* 参考リンク

近隣自治体の流行状況

- [神奈川県](#)
- [川崎市](#)
- [東京都](#)

全国の流行状況

- [国立感染症研究所](#)



《市全体》
2023/2024 シーズン
第 37 週 8.93

【お問い合わせ先】 横浜市衛生研究所感染症・疫学情報課 TEL 045(370)9279
横浜市医療局健康安全課 TEL 045(671)2442